

大会宣言

党员、支持者のみなさん！

社民党埼玉県連合は来年末までには必ず実施される衆議院議員選挙の勝利に向け本日、定期大会を開催しました。

安倍政権は15年9月に強行成立させた戦争法に基づいて「戦争のできる国」づくりを強引に進めています。南スーダン派遣の自衛隊PKO部隊に「駆けつけ警護」などの新たな任務を付与したり、今国会にはこれまで三度も廃案となった「共謀罪」を「テロ等準備罪」と名称変更して成立を図ろうとしています。沖縄での新基地建設に反対する山城博治沖縄平和運動センター議長への微罪による5カ月にもわたる勾留は、その先取りです。社民党は戦争法の廃止、「共謀罪」法案を廃案に追い込むため、戦争をさせない埼玉県1000人委員会に結集するみなさんらと連帯して闘います。

また「3・11」から6年余りが経過しましたが、安倍政権はその教訓に学ばず、原発の再稼働と輸出、被災者切り捨ての動きを強めています。なかでも最も被災者に寄り添わなければならない今村復興相は記者会見で支援の打ち切りで苦境にある「自主」避難者について「自己責任」と暴言を吐きました。

今年是被爆72年ですが、国連で画期的な核兵器禁止条約の締結をめざした交渉が始まり、被爆国・日本の果たすべき役割は極めて重要ですが、政府は不参加を決めました。決して許すことができません。社民党は「核と人類は共存できない」の理念のもと反核・非核の運動を推進していきます。

さらに収入が低く、雇用も不安定な非正規労働者が全労働者の約4割を占めるなかで、介護、医療の自己負担の増加や年金受給額の減額が進んでいます。「働き方改革」の名の下に進む長時間労働の強要や労働者保護ルールの改悪も認めることはできません。

党员、支持者のみなさん！

社民党埼玉県連合は「戦争のできる国にしない」「強い国よりやさしい社会」のために埼玉13区から立候補の準備を進めている池田まさよ県連合副代表を先頭に、衆院選の勝利へ埼玉県民のみなさんとともに全力を挙げて闘います。

以上、宣言します。

2017年4月22日

社民党埼玉県連合
第23回定期大会